

室内試験規格・基準委員会 WG8 特殊土の試験 第2回議事録

日時	平成20年3月13日(木) 14:00~17:00
場所	地盤工学会 3F 会長室
出席	三浦清一(北海道大), 石川達也(北海道大), 中田幸男(山口大), 林宏親(寒地土木研究所), 八木一善(岩田地崎建設), 高田誠(中央開発,(代)北村)
欠席	風間基樹(東北大), 片桐雅明(日建設計), 北村良介(鹿児島大)

議事録担当：石川達也 WG幹事

配布資料：

- 資料2-1 : WG8特殊土の試験一次原稿(案)
- 資料2-2 : 室内試験規格・基準委員会 平成19年度第6回議事録(案)
- 資料2-3 : 赤本の改訂作業に関する編集工程(修正版)

議題：

【審議事項】

(1) 一次原稿(案)の内容説明 (資料2-1)

三浦グループリーダーから、会議の趣旨説明について、説明があった。その後、各章執筆担当主査から、一次原稿の内容(旧版赤本からの改訂内容を主体として)について以下のような説明があった。

a) 第2章 高有機質土

林委員より、以下のような改訂を実施した旨、説明があった。

- ・ 「2.8.3 動的試験」を新規執筆
- ・ 透水試験, 強熱減量試験, K_0 せん断試験を加筆修正

審議内容

- ・ 収縮定数試験について説明を簡略化することを考慮して元文献を確認することになった。
- ・ 各種特殊土(高有機質土, 火山灰質土など)の分布については、第1章にまとめて執筆することが妥当な場合は移動することになった。
- ・ 透水係数の単位を「cm/s」→「m/s」に修正することになった。また、記号の使用についても地盤工学会の「地盤工学用語の標準記号」を参考にすることになった。

b) 第3章 火山灰質細粒土

石川WG幹事より、片桐委員から現在の執筆状況の説明があった旨、報告があった。

- ・ 関東ロームの例が無い場合、目次案(2007.10.25)から「3.2.9 環境問題にかかわる試験」を削除し、「3.3 その他の火山灰質粘性土」の中で個別に執筆する予定
- ・ 4月末完成を目処に執筆する予定

審議内容

- ・ 執筆を可能な限り前倒しにし、一次原稿を提出するよう片桐委員に依頼することになった。

c) 第4章 火山灰質粗粒土

新規執筆のため、八木委員より、ほぼすべての執筆内容について説明があった。

審議内容

- ・ 「4.8 凍上試験」はWG 1では物理試験に分類されていることから、「4.4 物理試験」への移動を検討することになった。

d) 第5章 風化残積土

中田委員より、以下のような改訂を実施した旨、説明があった。

- ・ まさ土以外はデータの追加が多くないため、目次案(2007.10.25)から「5.3 その他の風化残積土」を削除
- ・ 「5.1 まえがき」および不飽和試験を加筆修正

審議内容

- ・ 土粒子の「かさ密度」について表現を検討することになった。
- ・ 「5.7.5 浸水せん断試験」の削除・短縮等について検討することになった。
- ・ 試験時のB値の明示について検討することになった。

(2) その他改訂作業内容

(資料2-2~3)

石川WG幹事から、資料に基づき他WG等の赤本の改訂状況、改訂作業に関する編集工程・作業内容などが説明された。その後、原稿作成に関して以下のような質疑応答があった。

審議内容

a) スケジュールについて

- ・ H20年4月末が親委員会への一次原稿提出期限であることを確認
- ・ 本会議での指摘事項等を考慮したWG一次原稿の作成は、H20年4月7日(月)に実施することを確認
- ・ 他章の情報交換、他章との整合性の確認については、WG幹事を通して親委員会で実施し、重要な情報は随時WG各位に伝達することを再度確認
- ・ 次回のWG8委員会は広島での全国大会(7月)に開催予定

b) 原稿の執筆について

- ・ 石川WG幹事から、図面の作成については、以下のような親委員会での審議結果が紹介された。

「赤本の図は各WGで新たに作成するのか」「新規に追加する図に関しては経費削減の観点からできるだけ各WGで作成すること、現在の赤本の図に関しては前回と同じ印刷業者に今回も依頼できる見込みであり、図のデータを持っていることから新規に図を作成する必要はない」

- ・ 現在の赤本の図の修正に関して、以下のような質疑があり、親委員会で確認することになった。

図面内の単位系の変換作業はトレース時に実施してもらえるのか？

新規図面についてフォントや線種など何か執筆規定があるのか？

図面のトレース作業は具体的にどの程度実施してもらえるのか？

c) 転載許可について

- ・ 赤本の転載許可については毎回許可を得る必要があるため、執筆委員の周りの方の場合には、必要に応じて転載許可を得てもらいたい旨、石川WG幹事から依頼があった。
- ・ 転載許可の提出期限については、親委員会で確認することになった。
- ・ 出版社等個人レベルでは転載許可依頼の困難な場合については、依頼元と依頼内容を各執筆担当者に提出してもらい、WG幹事が取りまとめて、親委員会に報告することが了承された。

d) その他

- ・ 来月初旬に提出されたWG一次原稿のチェックについては、三浦グループリーダー、風間サブグループリーダー、石川WG幹事で調整することになった。

【報告事項】

(1) 平成 1 9 年度WG 予算の執行状況

石川WG幹事から、平成 1 9 年度WG 予算（刊行事業特別会計）の執行状況が紹介された。

(2) 親委員会への報告

石川WG幹事から、当会議の審議結果について、4月中旬に開催予定の親委員会で報告することが説明された。

以上